

芳賀天一 （譯） 國文學者 文學博士。慶應二年五月十四日、越前國生乳

昭和二年二月八日歿（二六七一—一九三三）。號不欲速齋主人、芳麗生、龍江

等。國學者、芳賀真陰の長男。明治二十五年帝國大學文科大學國文學科

卒。一八八八年第一高等學校教授、ドイツ留學後、二十五年東京帝大教

授、大正四年帝國學士院會員、七年國學院大學學長。

編著書 『國文學讀本』（花鏡二郎共編、明治二十二年四月）二十八年

富士山房書店）、『文學者年表』（編、明治二十五年十月）二百頁刊、富

山房書店）、『名家文話（第一卷）』（合著・内田鐵二郎編、明治二

十二年五月十日鐵華書院）、『國文學史十講』（明治二十二年十一月

二十日富士山房、再刊『校國文學史十講』島津久基校註、昭和十四年一

月）二百頁富士山房「富士山房百科文庫」）、『國學史概論』（明治二十二

年十一月）二百頁國語傳習所「國語傳習所講義」）、上田秋成著『前月

物語』（校訂、明治二十六年四月）一百頁富士山房「名著文庫」）、『狂言

（一）』（校訂、明治二十六年七月八日富士山房「名著文庫」）、松平

樂翁著『花月草紙』（校訂、明治二十七年一月）二十頁富士山房「名著

文庫」）、『國語活用聯語一覽』（明治二十七年九月）二十頁富士山

房）、『世界文學者年表』（明治二十七年十一月）二十四頁富士山房）、

『俳諧講演集』（合著・筑波會編、明治二十八年二月八日金港堂書籍

株式會社）、『中等教科中古文典』（訂正再版、明治二十八年四月）二十一

頁富士山房）、『日本家庭百科事彙』（下田次郎共編、明治二十九年十

一月）一百頁富士山房）、『詞藻類纂』（名義、編、明治四十年十月五日啓

成社。柳尾治編）、『國民性十論』（明治四十年十一月）二十頁富士山房

再刊）久松潜一校註・昭和十二年七月十五日「富士山房百科文庫」）

第廿二版・昭和十年四月二十日日本印刷工字社）、日本入（附・
戦争と國民性）『芳齋檀校註、昭和十四年五月十五日高山房「高山
房資料文庫」等。

文獻 田方實矢一先生』（昭和十二年一月六日田方實矢一先生記念會^{編輯}刊）
等。